



とうのしょうまち

**東庄町** 第159号

# 議会だより

平成29年  
3月1日  
発行

発行／東庄町議会

〒289-0692 香取郡東庄町笹川い 4713-131 電話 0478 (86) 1111

## 目次

- 12月定例会の内容……………2～4
- 一般質問……………5～7
- 議会トピックス……………8



コジュリンくん

福はーうち！ 福はーうち！！ 鬼はーそと！！

2月3日(金)は節分、橘幼稚園のかわいい園児たちが寒風にも負けず、大きな声で豆まきをしました。笹川幼稚園では同日、町シニアクラブとの交流会を行い、みんながほっこり、笑顔満開となりました。

子どもたちの願いは、ひとつ

「元気な一年生になれますように！！」

12月定例会

# 東庄町立小学校 設置条例可決!!



12月定例会は、12月6日に開催されました。

今議会では、総合計画基本構想の策定、条例の一部改正、指定管理者の指定、補正予算などの議案が提案され、慎重審議の結果、全議案を原案のとおり、可決しました。

一般質問は、3人の議員が行いました。

## 定例会の経過概要

12月定例会は、一般質問を3人の議員が行った後、第6次東庄町総合計画基本構想の策定、条例の一部改正、香取市東庄町病院組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議、指定管理者の指定、町道路線の廃止・認定、各会計の補正予算など議案14件を順次上程し、いずれも原案のとおり可決しました。

東庄町立小学校設置条例の一部を改正する条例を制定することについては、討論の申し出が有り、反対5名、賛成5名の討論が行われ、採決の結果、賛成多数で可決されました。(討論の内容は別に記載してあります)

## 可決された主な議案等の概要

◎第6次東庄町総合計画基本構想の策定

平成29年度から平成38年度までの期間で、第6次東庄町総合計画基本構想を策定するものです。

◎一般職の職員給与等に関する条例等の一部を改正する条例の制定

◎特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定

平成28年度の人事院勧告に基づき、一般職の職員の給与表及び期末勤勉手当の改正、常勤の特別職の期末手当の改正を行うものです。

◎東庄町立小学校設置条例の一部を改正する条例の制定

平成27年12月に策定された東庄町立小学校統合計画に基づき、平成32年4月に、現在5校ある小学校を1校に統合するとともに、名称を「東庄町立東庄小学校」とし、位置を「現、笹川小学校の位置」とするものです。

◎香取市東庄町病院組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議

香取市東庄町病院組合方針決定会議において「平成29年度以降の新病院建設事業に要する経費について、東庄町は負担しない方針とし、これを踏まえた香取市東庄町病院組合規

約の改正手続きを行うものとする。」とした合意事項により、香取市東庄町病院組合規約の一部を改正する必要が生じたため、議会の議決を求めらるるものです。

◎公の施設の指定管理者の指定

東庄町食肉センターの指定管理者の期間が本年度末で満了するため、引き続き東庄町食肉センター事業協同組合を指定管理者として指定するものです。

◎町道路線の廃止・町道路線の認定

小南地先から銚子市小長町に至る広域農道が供用開始したことにより、関連する認定道路5路線を一旦廃止し、一旦廃止した町道路線の内、未供用路線及び広域農道として供用開始した以外の路線3路線を再び町道認定するものです。

◎一般会計補正予算

補正額は、6722万8千円で、補正後の歳入歳出予算の総額を49億713万1千円とするものです。

歳出の主なものは、退職職員他職員の異動による人件費の減額のほか、障害児通所給付費、自立支援給付費、児童福祉施設維持補修工事費、人間ドック委託料、水田自給力向上対策事業補助金、道路改良工事費、中学校教育施設維持補修工事費等に係る

増額補正です。

### ◎国民健康保険特別会計補正予算

補正額は、7400万円で、補正後の歳入歳出予算の総額を25億3962万3千円とするものです。

主なものは、療養給付費及び高額療養費の不足に係る補正です。

### ◎訪問看護ステーション特別会計補正予算

補正額は、12万5千円で、補正後の歳入歳出予算の総額を2070万2千円とするものです。

内容は、給与改定による人件費の補正です。

### ◎介護保険特別会計補正予算

補正額は、2315万7千円で、補正後の歳入歳出予算の総額を12億8442万円とするものです。

主なものは、給与改定による人件費、居宅介護サービス給付費及び施設介護サービス給付費等を補正するものです。

### ◎水道事業会計補正予算

収益的支出で、給与改定等に伴う人件費9万5千円を増額補正するものです。

### ◎病院事業会計補正予算

収益的収支の収入で、医業収益の外來収益が伸びたことにより2392万3千円を、支出では、給与改定に伴う人件費及び薬品費等の材料費1776万5千円をそれぞれ増額補正するものです。

## 東庄町立小学校設置条例

### 討論内容

#### ▽反対

この設置条例は、小学校統合計画に基づいての提案とはいえ、従来の説明と大きく乖離している。我々議員の使命は、町執行部に対し、正しく統合計画の通り進めるよう進言し、行政をチェックすることである。計画が変更になった以上は、改めて保護者・住民に詳細な予算説明をすべきではないか。安易な計画の変更は認めることができない。平成32年度に笹川小学校の位置に統合するという設置条例をあえてこの時期にやる必要はない。計画は進めながらも設置時に条例を制定すべきと思う。

一番重要なことは、将来ビジョンを示したうえで、拙速せず改めて保護者・住民に説明し、理解を得ることである。

また、将来的に東庄中学校の所に小学校を設置する構想を持っているなら、なぜ笹川小学校にお金をかける必要があるのか。中学校を解体し、新校舎を建設し、小学校・幼稚園を持つてくれば無駄な経費をかけずに済むと思う。小中連携校を東庄中学校の所に作るのがベターである。

この案件は、町の合併問題と同じ

くらい重要だと思うので、結論を急がず、今一度住民へ説明し、意見を吸い上げたのちに、十分に検討すべきと考える。

我々議員は、子どもたちのためと安易に議決するのではなく、予算の議決権を持つ機関であること、住民全体の奉仕者としての職責を果たさなければならぬ立場であることを決して忘れてはならない。

#### △賛成

今、一番に考慮すべきは、予算ではなく、子どもたちの教育環境を整えることである。統合予定の平成32年には、新学習指導要領になり、自分たちで課題を設け、探求し、問題を解説して行くようになると聴いている。そのためには、多くの生徒で話し合い、協力しながら自分たちで答えを導き出す環境が必要不可欠である。現状の小学校5校のような環境教育の格差を是正し、教育環境を統一するための統合は計画通り進めていくべきと考える。子どもたちにはより良い環境の中、大勢の中で、お互いが切磋琢磨して成長して欲しい。

また、学校行事やスポーツ大会などに関しても、統合した方が効率が高く、子どもたちにもプラス面が大きいと考える。統合に関して、ただお金を使うのではなく将来にかける投資と考えるかどうか。

町は、これまで財政面から歳出を抑え、地道にお金を蓄えてきている。今が、その予算を使う時である。統合、この時期を逃して、一体いつどこで使うのか。統合の時期に小学校生活を送る子どもたちや、保護者の皆さんは大変だと思うが、笹川の位置に統合することは概ね認識されていると思われるので、この時期を変えるべきではない。

平成32年の統合が決まれば、子どもたちには、新しい学校に大きな夢と希望を持って登校していただきたいと切に願う。そして、学校生活が本当に良いものであったと言っているだけのように、我々議員も精一杯サポートしていきたい。



# 12月定例会上程議案等議決結果

賛成=○ 反対=× 議長=- (議長は、裁決に加わりません)

議案番号	議案名	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
			土屋 光正	宮澤 健	佐久間 義房	板寺 正範	花香 孝彦	林 俊之	大網 正敏	城之内 一男	高木 武男	鈴木 正昭	山崎 ひろみ	宮崎 正吾	鎌形 寿一	土屋 進
議案第33号	第6次東庄町総合計画基本構想の策定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第34号	一般職の職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第35号	特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第36号	東庄町立小学校設置条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決	○	○	×	×	×	○	×	×	×	○	○	○	○	-
議案第37号	香取市東庄町病院組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第38号	公の施設の指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第39号	町道路線の廃止について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第40号	町道路線の認定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第41号	平成28年度東庄町一般会計補正予算(第4号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第42号	平成28年度東庄町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第43号	平成28年度東庄町訪問看護ステーション特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第44号	平成28年度東庄町介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第45号	平成28年度東庄町水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第46号	平成28年度東庄町国民健康保険東庄病院事業会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-





山崎 ひろみ 議員

子育て支援について

**問** 平成27年度から「こども・子育て支援新制度」がスタートされたが、我が町の進捗状況を伺う。子育て世代の多くが利用しているスマートフォンで、気軽に子育て支援に関する情報を取得できるアプリの導入を進めるべきと考えるが。

**健康福祉課長** この計画については、町子ども子育て会議で審議いただいておりますが、幼稚園・保育所・地域子育て支援センター及び放課後児童クラブの利用状況は、概ね見込み量どおりの実績となっております。また、新規の「ファミリー・サポート・センター事業」は、今年度ニーズ調査を実施しており平成29年度事業実施に向け、町社会福祉協議会と協議しています。同じく、必要に応じ相談助言等を行う「利用者支援事業」は、町児童館で今年度中に開始する予定です。そして、子育て支援アプリについては、県で立ち上げている「ちばマイスタイルダイアリ

ー」というアプリに情報を掲載するとともに、リンク先としての町ホームページの充実に努めて参りたいと考えております。



スマホのアプリ

問

経済的な理由で結婚に踏み出せない若者を応援するため、結婚に伴う住居費や引っ越し費用に対し、国と自治体で補助する「結婚新生活支援事業」を導入する考えはあるか。



**健康福祉課長** この事業については、国の補助制度の内容や継続性、近隣市の実績などを確認し、導入を検討してまいりたいと考えます。

防犯対策について

**問** 現在、町内の防犯灯は、主要道路・通学路は町が管理し、その他は各区の管理と分かれている。一括して町が管理すべきと考えるが、町の見解を伺う。防犯灯を全てLED化し、メンテナンスを含めた長期のリース契約を導入し、経費削減を図ってはどうか。

**総務課長** 現在、町の管理する通学路防犯灯は708灯あり、順次LEDに交換しております。一方、各区管理の防犯灯には、設置・器具交換・電気代補助をしております。議員ご提案のとおり、町全体の防犯灯を一括リースし、LED化することは、効果的だと思われれます。導入時の財政的問題等も含め、今後前向きに検討したいと考えます。行政一括管理については、様々な課題もありますが、地域と行政の協働事業として機能するよう、今後考えたいと思います。



通学路防犯灯

議会の傍聴に  
お出かけください



3月定例会は、3月6日(月)から開会予定です。

<http://www.town.tohnosho.chiba.jp/>



宮澤 健 議員

### 第5次東庄町総合計画 後期基本計画について

**問** 今年が後期基本計画最終年度にあたるが、昨年度の実績でかなり下回った事項が8項目ほどあり、この要因をどのように分析しているのか伺う。

**総務課長** 27年度目標値を下回った8事業の一つ目は、町内巡回バス利用者数の減ですが、これは、旭中央病院行き利用者の減が主な要因と思われる。二つ目の救急応急手当員数の減は、婦人部の脱会が大きいと考えます。三つ目の観光入込数の減は、東庄県民の森の入込客数が減少したこと、四つ目の各種予防接種率の低い要因は、子宮頸がんの予防接種の副作用問題が主と考えます。五つ目青少年相談員事業参加者数については、香取地域大会参加チームの減少が影響したものと思われる。六つ目の親子講座参加者数減は、定員不足による未実施となった講座があったことであり、七つ目公民館

生涯学習講座については、参加者数自体が増えてはきているものの、設定目標値を過度に高くし過ぎたことが要因と考えます。最後八つ目、町ホームページへのアクセス回数の減は、検索業者からのアクセス数を除外したことによるものと思われる。第6次総合計画では、これら事業の効果を検証しつつ、改善を図り、より適切な目標値を設定したいと思っています。

### まち・ひと・しごと創生東庄町総合戦略について

**問** 第5次東庄町総合計画と年度が重複するが、計画の整合性と踏襲継続性についてどのように考えるか。

**総務課長** 総合計画は町の総合的な振興・発展等を目的に事業、施策町政全ての分野を網羅する計画です。一方、総合戦略は人口減少克服、地方創生を目的に特化したものという位置付けです。人口減少状態での行政運営は、困難を強いられるため、総合戦略で人口確保を図り、今後の第6次総合計画の重点施策として位置付け、推進しながら町全体の持続的振興と発展を図っていききたいと考えます。

**問** 総合戦略における4つの基本の最重要目標は人口減少対策だが、目標達成に向け、就職希望と雇用のバランスは取れているのか伺う。

安定した就職先確保に向け、今後新たに企業誘致する計画はあるか。

**総務課長** 就職希望者と雇用のバランス問題は、安定した人口定着を図る上で欠かせない要件の一つと考えていますが、町では就職希望者数の把握まではしておりません。現状では、ハローワーク佐原・銚子から求人情報を収集し、庁舎内掲示板に提示しているほか、一日ハローワークを役場内で開設するなど、雇用と就労のマッチングの機会を設けています。また、町内事業所等からの求人依頼についても、その都度、対応し揭示しています。

企業誘致計画については、現在、新規の予定はありません。しかし、新たな雇用の場の創出と雇用環境整備を目指し、町の産業振興と活性化のため、今後も創業促進支援事業に取り組んでまいります。



東庄工業団地



庁舎内求人情報コーナー

この一般質問は、12月定例会の内容を要約したものです。  
全文は、東庄町ホームページ内東庄町議会・会議録からご覧下さい。



高木 武男 議員

## 本町の教育行政について

**問** 本町、5校の小学校は耐震化工事も完了し、きれいに整備されたばかりです。それを廃校にし、なぜ統合を急ぐのか、お伺い致します。

**教育課長** 現在笹川小学校を除く4校は、全学年単学級のため、クラス替えによる学級間での切磋琢磨し合う機会がありません。中でも、神代小学校は、児童養護施設からの児童の転出入の状況で一部の学年で来年度から複式学級化することが現実です。また、耐震補強工事が完了しているとは言え、校舎及び屋内運動場は、建設後35年から40年が経過しており、安全性が高いとは言えない状況下にあります。

町の財政面からは、統廃合により教育環境整備への集中的な投資が可能となり、先進的な教育機材の導入や学校図書館の充実等が図られることにより、学習意欲や効果の伸展が期待されます。以上のことから、教育環境の一層の充実と「知・徳・体

のバランスのとれた児童の健全育成を図るため、早期に小学校を統廃合し、最低限各学年2学級の標準規模を確保していくことが望ましいと考えます。

**問** 今から25年後には、子どもたちの数も今の半分位になると予測されます。まさに、急激な人口減少社会へと向かう中、今までは違った視点で考えなければなりません。

本町の教育ビジョンについてお伺い致します。

**教育課長** 本町の教育ビジョンですが、幼稚園と小学校との連携を今まで以上に強化していかなければならぬと考えています。本町全ての児童には、「21世紀をたくましく生き抜くことのできる東庄の子ども達の育成」を基本ベースに、学習環境を整備していくことが必要不可欠であると考えています。

**問** 町の限りある予算の中でも、子ども達にはより良い教育環境を整えなければなりません。そのために、小学校は中学校に隣接し、運動場・体育館・プール・図書館等共同で使用すれば、より経済的です。

幼保一元化と小中一貫教育についてのどのように考えますか。

**教育課長** 幼稚園教育については、現在、保護者の多くが就労しているため、園児受け入れ時間の短い幼稚園には入園しない幼児も増えています。

就労している保護者の幼児も安心して幼稚園へ入園できるよう、制度の見直しと、幼児期からの心の教育と幼稚園・小学校教育の連続性を進めていきたいと考えています。

続いて、小中一貫教育ですが、以前、附属小中学校は「エスカレーター式学校」などと言われ、特別な教育をしている学校と思われる小中一貫校は、中学校へ進学した際、不適応を起こす「中一ギャップ」を解消するため、小学校から中学校へ変化の少ない、段差のなだらかな9年間の教育を行える学校として考えられております。五つの小学校を一つに統合することで、切磋琢磨し、「中一ギャップ」を乗り越え、強い子どもに成長していけると考えます。

なお、これまで大規模改修をした校舎も平成50年までには、共に新築をする必要性が生まれます。それまでに、小中一貫教育を進めている先進校の事例・教育課程・教員免許制度の変化などを見極め、小学校を現在の東庄中学校の場所に設置した際、本町の子どもに合う教育は、一貫教育なのか、連携教育なのか、また、どのような教育環境が一番最適なのかを決めていく必要があると考えています。

**問** 統合小学校の位置について、町長はどのように考えますか。

**町長** 教育に関することは、教育委員会という一つの大きなセクションがありますから、その中で決められたことに関しては答える立場にはありません。児童減少の状況下にある町の教育実態の中でも、子どもたちには同一水準、より質の高い教育を受けさせたい、これが統廃合だと思えます。

**教育課長** 統合校として最も適し、利用可能なのはどこなのかを、各校舎の耐用年数や普通教室化可能な教室総数、施設の拡張性、スクールバス運行等の学校設備面から検討いたしました。更に、保護者や地域の方々とを結ぶさまざまな学校行事を開催するにあたり、駐車場の確保は必要不可欠問題です。これらを総合的に検討した結果、最も適合する「笹川小学校」の位置に統合するものとしたところです。



## 小学校跡地利活用先進事例地を視察

1月19日、東庄町立小学校跡地利活用検討委員会で、栃木県足利市さいこうふれあいセンター及び群馬県桐生市総合福祉センターを視察。議会からは、林俊之文教福祉常任委員長が参加しました。

足利市は、旧西小学校（さいこう）の跡地を高齢者向け福祉施設と子育て支援センターを複合した施設に改修をし、桐生市は、旧南中学校の跡地を社会福祉協議会が指定管理者となり、障害者支援や介護支援のための交流センターとして、活用を図っていました。



## 議会活動日誌

【議長・議員が出席した主な行事】

### 11月

- 2日 橘小学校創立140周年記念式典
- 3日 第29回東庄ふれあいまつり・第42回東庄町文化祭
- 5日 東城小学校創立140周年記念式典
- 7日 千葉県後期高齢者医療広域連合議会第2回定例会
- 7～9日 「東庄町民号」町民集いと憩いの旅（北海道方面）
- 9日 第60回町村議会議長全国大会  
 〃 香取郡市町議会議長会意見交換会
- 11日 東庄町教育研究協議会合同研修会
- 17日 東京都西多摩郡日の出町議会行政視察来訪
- 18日 千葉県町村議会議長会第2回定例会及び正副議長研修会
- 22日 議会広報編集委員会
- 29日 議会運営委員会

### 12月

- 6日 議会12月定例会本会議  
 〃 議会全員協議会

- 14日 行政協力員慰労会
- 15日 町PTA連絡協議会教育講演会
- 26日 香取広域市町村圏事務組合監査
- 1月
- 4日 仕事始めの儀
- 5日 香取郡市町新春名刺交換会  
 〃 香取郡市町議会議長会定例会
- 8日 東庄町成人式
- 9日 東庄町消防団消防出初式
- 17日 行政・町及び東庄青果役員新年市場訪問
- 19日 東庄町立小学校跡地利活用検討委員会視察（栃木県足利市・群馬県桐生市）
- 23日 農業振興地域整備促進協議会
- 24日 小見川交通安全協会東庄町支部新春交通安全祈願祭
- 27日 千葉県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会
- 31日 香取市東庄町病院組合議会全員協議会及び臨時会

## ◆編集後記◆

議員は、町民の皆さまの声を町政に反映できるように、常にアンテナを高くして活動していきます。

会議の中での発言は、自らが責任を持ち、町の将来を考え町民の安心安全を最優先に、更に希望が持てる町づくりの為に声をあげていかなければならないと思っております。

編集委員の一員として、議会活動の一端を皆さまにわかりやすくお伝えできる紙面になるよう努力して参りますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

（委員 山崎 ひろみ）



### 議会広報編集委員

- 委員長 花 香 孝 彦
- 副委員長 宮 澤 ひろみ 健 彦
- 委員 山崎 崎 正 昭
- 委員 鈴木 正 敏
- 委員 大屋 光 正